

アフターサービスと保証

修理を依頼される時は

ビデオデッキが正常に動作しないときは、「使用上のご注意」(33、34ページ)、および「故障かな…と考える前に」(35、36ページ)をお読りください。それでも不具合な場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店にご相談ください。

なお、贈答品の修理その他でお困りの場合には、お近くの日立の家電品販売店または別紙ご相談窓口—黄表(黄色用紙)のお客様相談窓口にご相談ください。

アフターサービスを申し付けたいときは、次のことをお知らせください。

形名—VT-86

症状—できるだけ詳しくお話しください。

遺失—付近の目印もお付け加えてください。

保証書について

この商品は保証書付きです。

保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますから、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

転居される時は

転居で、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もってお買い求めの販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店をご紹介させていただきます。

なお本機は50Hz(ヘルツ)、60Hz(ヘルツ)の切替が自動的に行われしますので、切替なしでどちらの地域でも使用できます。

部品の保有期間

当社は、このビデオデッキの補修用性能部品を、製造打切後最低8年間保有しています。

美しい画面を見るための点検のおすすめ

ビデオデッキは、カラーテレビやビデオカメラからの画面を磁気テープに記録したり、再生したりするため、非常に高い精度を必要とする機械です。

特に、ビデオヘッドやビデオテープを動かす機械部分は、お使いになる間に汚れたり、摩耗したりしてきます。性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくためには、使用環境(温度、湿度、ホコリ)などに左右されますが、およそ1000時間を目途に点検(清掃、注油、一部部品交換)されることをおすすめいたします。

くわしくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

- 大切な録画(結婚式など)の場合は、必ず事前に試し撮りし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- ビデオカメラ、ビデオ及びビデオカセットの使用上、万一これらの不具合により録画されなかったり、再生できなくなった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。
- 本機の「3倍」モード(長時間)で録画したテープは「標準」モード(2時間)専用のVHSビデオで再生できません。

仕様

形式	VT-86	
方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン VHS方式 (NTSC準拠)	
録画再生時間	3巻モード 8時間 (T-160 使用時)	標準モード 2時間40分 (T-160 使用時)
テープ速度	3巻モード 11.1mm/秒	標準モード 33.4mm/秒
テープ幅	12.7mm	
使用カセット	VHSタイプビデオカセット	
VHF出力	1,2チャンネル切替式	
映像入力	1.0V p-p, 75Ω 不平衡	
映像出力	1.0V p-p, 75Ω 不平衡	
音声入力	ライン: -7.8dBs (316 mV rms), ハイインピーダンス	
音声出力	ライン: -7.8dBs (316 mV rms), ローインピーダンス	
	ヘッドホン: 混合インピーダンス 8Ω~2KΩ	
音声トラック	3トラック (H-I-F: VHS音声 2トラック: ステレオ録音/ステレオ再生) ノーマル音声 1トラック: モノラル録音/モノラル再生)	
H-I-F: VHS音声特性	ダイナミックレンジ	80dB以上
	周波数特性	20Hz~20kHz
	ワウ・フラッター	0.005%
早送り・巻戻し時間	約6分 (T-160使用時)	
許容動作温度	5℃~40℃	
許容相対湿度	80%以下	
電源	AC100V 50/60Hz 共用	
消費電力	36W (タイマーのみ動作時約9W)	
外形寸法	(幅)43.5×(高さ)9.9×(奥行)36.6cm	
質量	8.8kg	
付属品	アンテナアダプター.....1個	ワイヤレスリモコン.....1個
	同軸ケーブル.....1本	単3乾電池.....2個
	UHFアンテナアダプター.....1本	USピンコード.....1本
	(フィーダー線付)	リモコンケース.....1個

★本機の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

メモ

購入店名: _____ ※日のため記入しておいてください。サービスを依頼されるときお役に立ちます。

電話(- -) 購入年月日: 年 月 日

日立家電販売株式会社 株式会社 日立製作所

〒105 東京都港区西新橋2丁目15番12号
電話 (03)502-2111

YS-TF(IN)

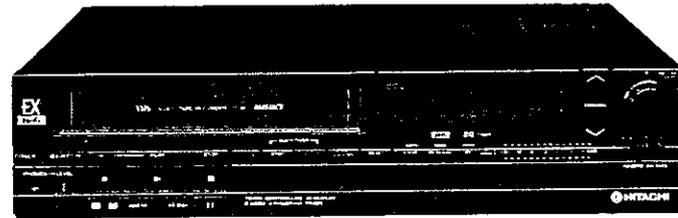
取扱説明書

HITACHI

上手に使うと上手に節電

日立ビデオデッキ VT-86形

このたびは、日立ビデオデッキをお求めいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
なお、お読みになった後は、保証書、ご相談窓口一覧表とともに大切に保存してください。



マスタークス Hi-Fi 86

このビデオは VHS方式のビデオです。VHSマークのついたビデオカセットテープ以外は使用できません。

目次

ご使用になる前に	テープカウンターの使用かた.....22
特長.....2	テープの編集.....24
準備.....2	カメラ録画.....24
各部の名称.....3	接続と調整 (ご自分で設置する際は)
H-I-F: VHSビデオとは.....6	アンテナを接続するには.....25
ビデオカセットの出し入れ.....7	オーディオ機器との接続.....28
基本操作	現在時刻の合わせかた.....29
テレビ番組の録画.....8	受信チャンネルの合わせかた.....30
録画したテープを見る(再生).....11	ご注意・参考
いろいろな再生.....12	使用上のご注意.....33
クイックタイマー録画.....14	故障かな.....と考える前に.....35
リモコンの使用かた.....16	別売り品のご紹介.....36
タイマー録画.....17	付録(APPENDIX).....37
オーディオシステムとしての使用かた.....21	アフターサービスと保証.....39
その他の使用かた	仕様.....40
上手なつなぎ録画のしかた.....22	

テレビ番組の録画

録画したテープを見る(再生)

いろいろな再生 クイックタイマー録画

特長

Hi-Fi ステレオ録音・再生

Hi-Fi VHS規格の採用で、80dB以上のダイナミックレンジ、20~20,000Hzの幅広い周波数特性、0.005%のワウ・フラッターという音質の良いステレオ録音・再生が可能です。

ファインスタイルのEXヘッド搭載

スピードプレイ専用ヘッドを加えたEXヘッドの採用により、決定的瞬間をブレのない、きれいな静止画＝ファインスタイルで見ることができます。

2週間4番組予約タイマー

2週間先までの4番組が予約できる、便利なタイマー内蔵。毎日、毎週くり返しも含めて4本の番組予約ができます。

サイマル録音機能

テレビ番組とFM放送などを同時に録音（音）できます。また電源、タイマーの入、切と運動の補助電源コンセントがありますので、FMエアチェックの留守録に便利です。

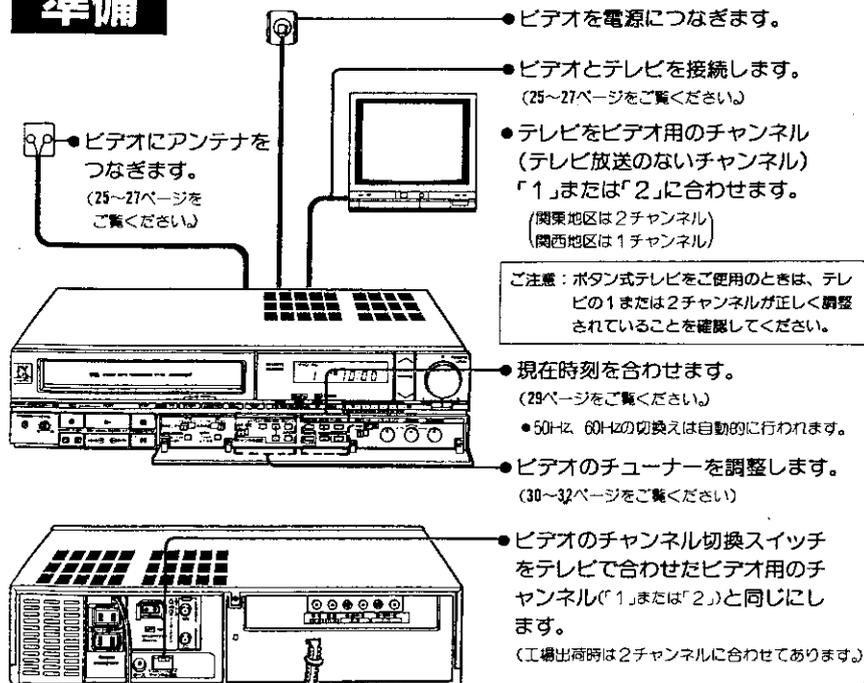
クイックタイマー付

急な外出や、おやすみ前に、ボタンを押すだけで、きまつた時間を簡単録音。録音が終われば、電源は自動的に切れます。

その他

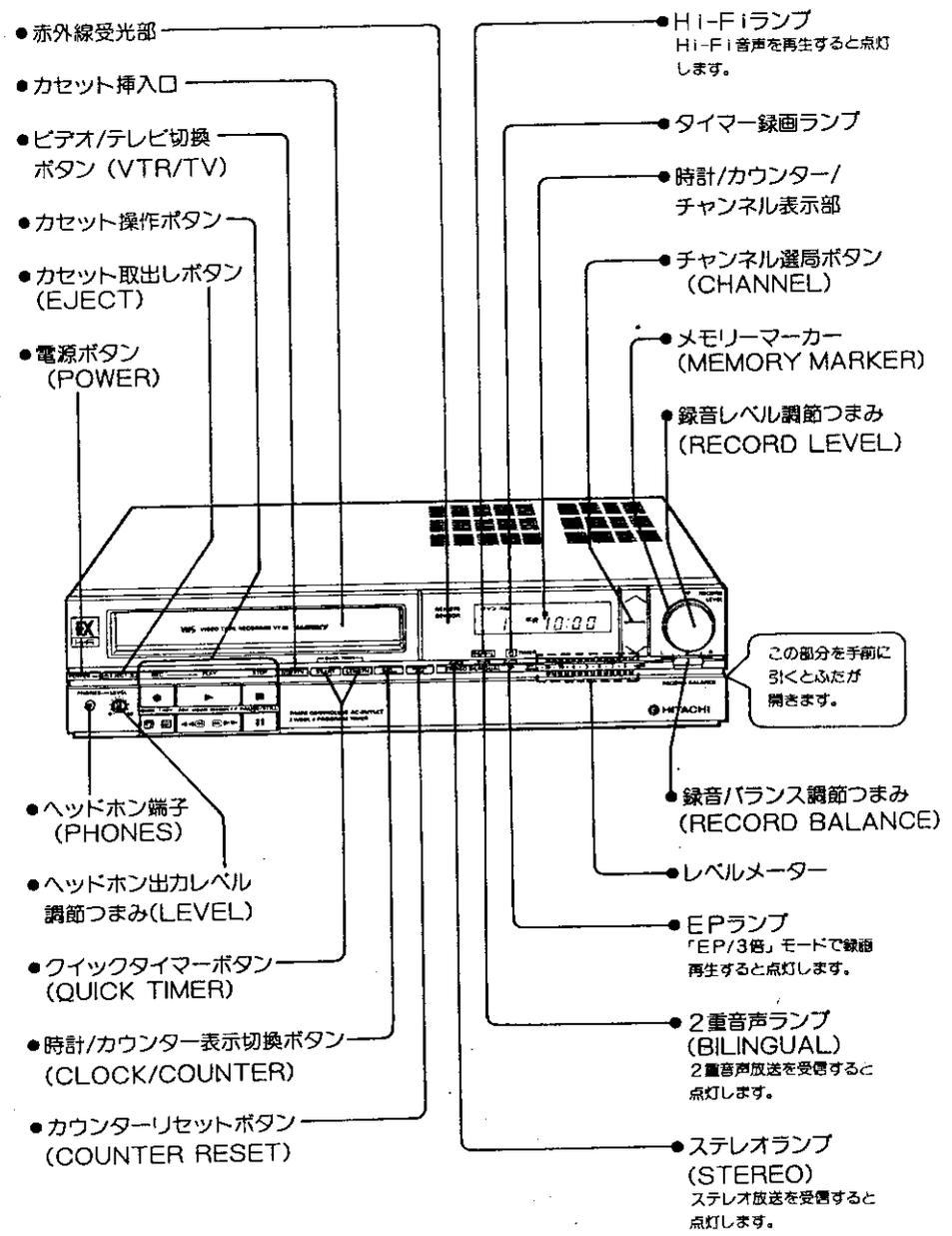
- テープが終わると自動的に巻戻すオートリwind機能。
- テープを巻戻し中に電源を切ると、巻戻し完了時に電源が切れるリwindシャットオフ機能。
- 音声多重放送受信可能。

準備

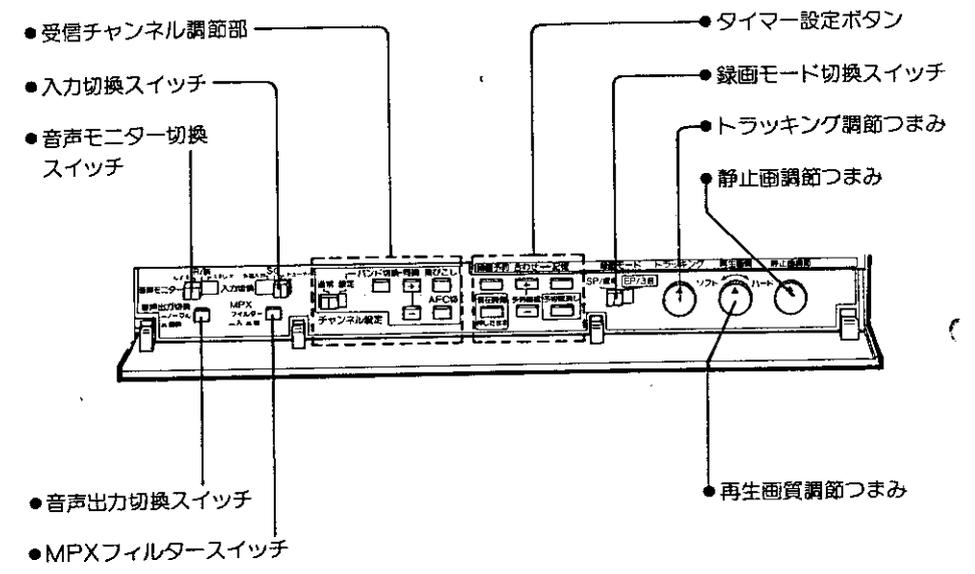


各部の名称

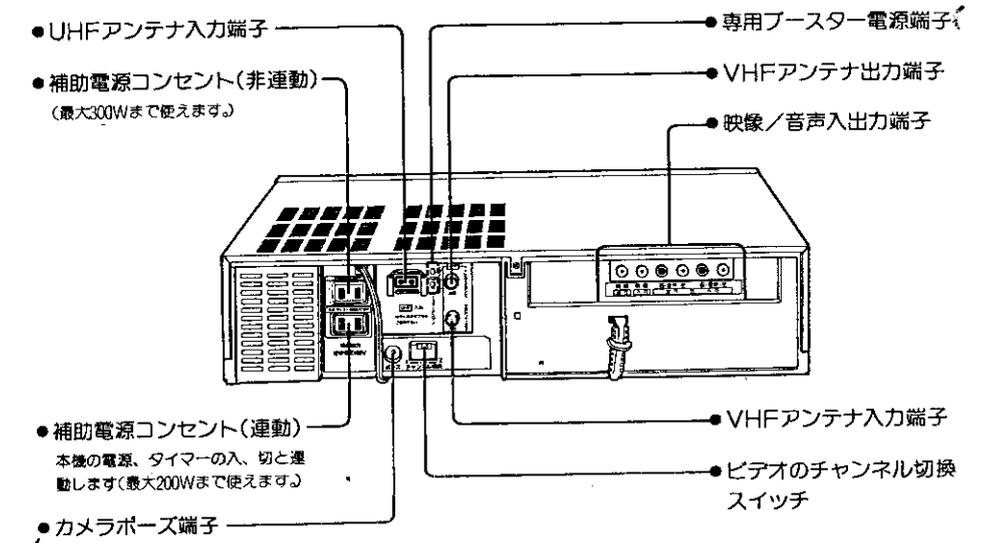
前面



「ふた」の内側

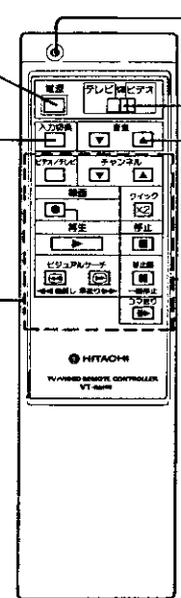


後面



リモコン (付属品)

- ビデオまたはテレビの電源「入」、「切」ができます。
- テレビの入力を切換えることができます。
- ビデオの操作ボタンと同じ働きをします。
- はテレビのチャンネル選局にも使えます。



- リモコンのボタンを押すとランプがつかきます。
- テレビを操作するときは「テレビ」に、ビデオの操作をするときは「ビデオ」にします。
- リモコンを使わないときは「切」にしておきます。
- テレビの音量を調節できます。

■乾電池の入れかた

ご使用前に付属の単3乾電池2個を入れます。



■乾電池についてのご注意

- 乾電池の寿命は通常のご使用で約2年です。リモコンの到達距離が短くなったり、ボタンを押してもリモコンのランプがつかないときは電池を交換してください。
- 古い乾電池と新しい電池を混ぜて使わないでください。また種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
- ショートさせたり、分解、加熱、また火に投入したりしないでください。
- 長期間ご使用にならない場合は乾電池をリモコンから取り出しておいてください。

Hi-Fi VHSビデオとは

Hi-Fi VHSビデオは音声を同時に2通りの方式で録音します。
1つは従来通りノーマル音声トラックに、もう1つは映像トラックに周波数変調(FM)で記録します。

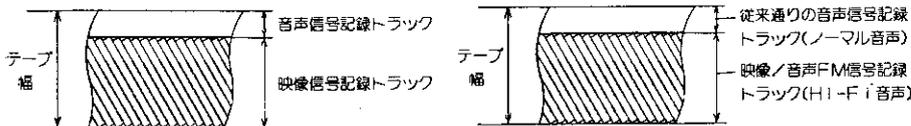
1. 従来のビデオと Hi-Fi VHSビデオの違い

●従来のビデオ

音声信号は音声トラックに、映像信号は映像トラックに記録します。

●Hi-Fi VHSビデオ

音声信号を音声トラックの他に映像トラックにも映像信号と重ね合わせて記録します。このとき映像トラック部には音声信号をFM(周波数変調)で記録します。



2. Hi-Fi VHSビデオの優れている点

音声をFMで録音するため、次の利点があります。

- 周波数特性が優れている。
- 雑音やひずみが少ない。
- ダイナミックレンジが広い。

この他、回転2ヘッド(音声ヘッド)を使つての記録/再生のため、テープとヘッドの相対速度が従来の約520倍(「EP/3倍」モードと比較)でワウ・フラッター(回転ムラ)は測定限界以下です。

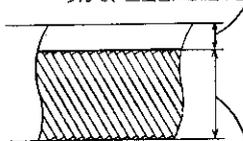
3. 従来のビデオとの互換性

従来通りの録音も同時に行われますので、このビデオで録画したテープはHi-Fi VHS録音システムのないビデオでも再生できます。

●音声多重放送の録音

- Hi-Fi音声トラックはL、Rの2チャンネルで録音できます。そのため自動的にステレオ放送はステレオで、二重音声放送は主音声(日本語)と副音声(外国語)の両方が録音できます。
- ノーマル音声トラックにはステレオ放送はモノラルで、二重音声放送は主音声(日本語)のみ録音されます。

ノーマル音声トラックには、ステレオ放送はモノラルで、二重音声放送は主音声記録される。



Hi-Fi音声トラックにはステレオ放送はステレオで、二重音声放送は主音声と副音声の両方が記録される。

●音声多重放送をお楽しみいただくために

本機のVHFアンテナ出力端子から出力される音声はモノラルです。
本機で音声多重放送をお楽しみいただくには、ステレオ対応音声、映像入力端子付テレビ(当社「オンライン」テレビ)やステレオアンプと接続してご使用になるが、ステレオヘッドホンをご使用ください。詳しくは25、28ページをご覧ください。

ビデオカセットの出し入れ

ビデオカセットの出し入れはビデオの電源を入れてから行います。

入れるとき

- テープの見える面を上にして中央部をゆつくり押し込みます。
- EJECTのランプがつかまります。
- カセットの端を押すとカセットが斜めになつたまま入り、途中で止まる場合があります。このときは内部の保護回路が働き約5秒たつとテープは自動的に戻つて来ますので再度正しく押し入れてください。

取出すとき

- EJECTを押します。
- フタがあき、中からビデオカセットが出てきます。
- EJECTのランプは消えます。

ビデオカセットについて

■ビデオカセットはオーディオカセットと違い、裏返しては使えません。

■大切な録画内容を誤って消さないようにするには

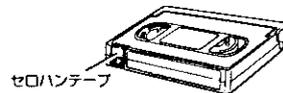
- 「つめ」を折り取ると録画はできなくなります。

■「つめ」を折ったテープに録画するには

- 穴の上にセロハンテープを貼ると録画ができるようになります。(2巻に貼るとより安全です)



「つめ」を折る

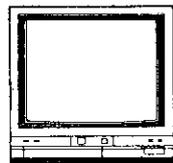


セロハンテープ

- テレビ放送、レコード、録音物(市販の録音用テープ)などから録画(音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。
- ビデオカセットのフタを開けてテープに手を加えたりすると、ヘッドが傷つきビデオデッキの故障の原因にもなりますので、ビデオカセットの取扱説明書をよく読みいただき、正しくご使用ください。

テレビ番組を見ながら録画するには

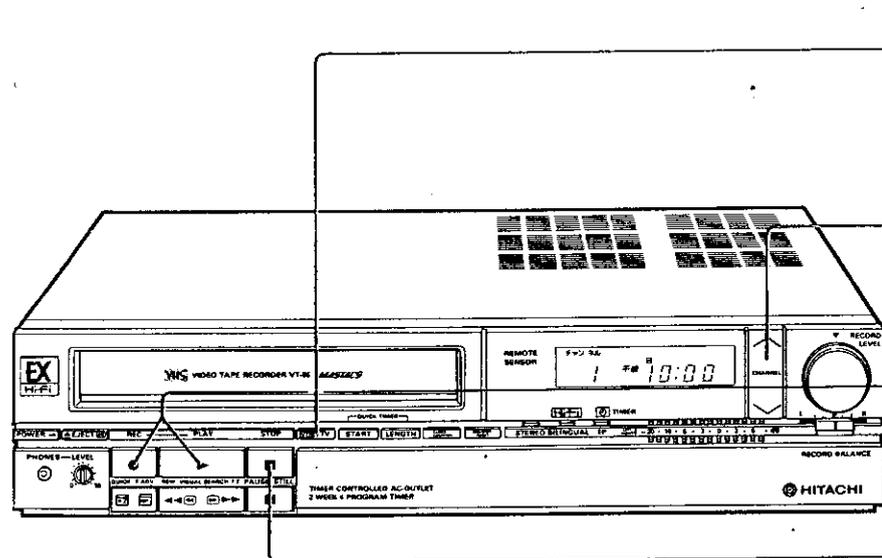
準備



- ビデオの電源を入れ、ビデオカセットを入れます。
- テレビの電源を入れ、ビデオ用のチャンネル「1」または「2」にします。
- 録画モード切換スイッチを「SP/標準」または「EP/3倍」にします。

次頁へ続く

- 入力切換スイッチを「チューナー」にします。
- 録音レベル (RECORD LEVEL) 調節つまみの目盛り「5」を中央の▼印に合わせます。
- 録音バランス (RECORD BALANCE) 調節つまみを手ごたえのある中央にします。



1 **VTR/TV** を押して「VTR」にする。
VTR ランプがつかまります。

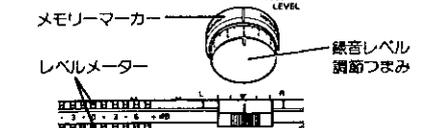
2 **CHANNEL** または **CHANNEL** を押して録画したいチャンネルを選ぶ。

3 **REC** と **PLAY** を同時に押す。
録画が始まります。

4 録画をやめるときは **STOP** を押す。
テープが最後までくると自動的に巻戻され停止します。

録音レベルの調節

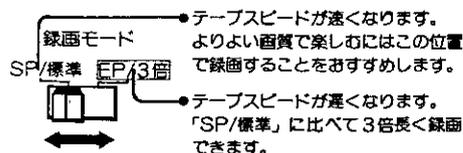
本機は録音(音)する時、番組の内容に応じて録音レベルを調節することができます。レベルが高すぎると音がひずみます。低すぎると音が聞こえなかったり、雑音の多い録音になります。録音(音)する前はかならず録音レベルの調節を行ってください。



- テレビ番組を録画するときは、つまみの目盛り「5」を中央の▼印に合わせると適正レベルで録音できます。
- FMチューナーなどの外部機器から録音するときは、つまみを回し、レベルメーターの最初の赤いランプが時々、点灯する位置に合わせて適正レベルで録音できます。またこのときメモリーマーカー(MEMORY MARKER)を回して位置を合わせておけば、次回からの録音時、レベル合わせが簡単にできます。
- ビデオのチャンネル選局ボタンで選んだ番組を見ると、この録音レベル調節つまみを回すとテレビから聞こえる音の大きさも変わります。

録画モード切換スイッチの使いかた

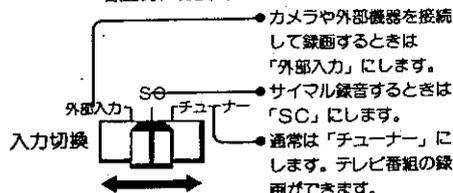
録画時間を切換えるスイッチです。
(再生時は切換える必要がありません)



録画中にこのスイッチを切換えると、その部分の画線が乱れますのでおやめください。

入力切換スイッチの使いかた

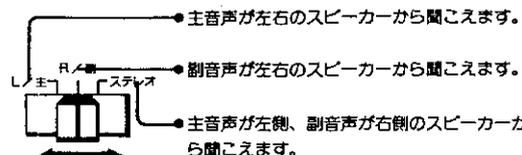
録画時に切換えるスイッチです。



サイマル録音とは………
テレビ番組とFM放送などを同時に録音(音)することです。詳しくは21ページをご覧ください。

音声モニター切換スイッチの使いかた

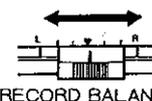
録画または再生時にテレビまたはヘッドホンから聞こえる音をこのスイッチで選ぶことができます。(2重音声放送の録画、もしくはそれを録画したテープを再生するとき便利です)



●ステレオ放送を受信しているときは、このスイッチに関係なく自動的にステレオになります。

録音バランス (RECORD BALANCE) 調節つまみの使いかた

録音(音)時に左右の音のレベルを変えるつまみです。

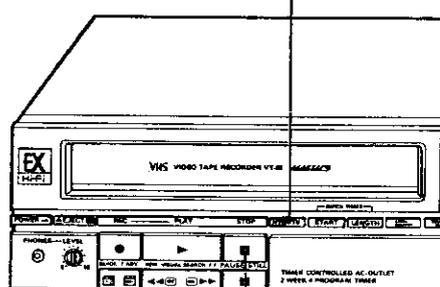


- ふつうは手ごたえのある中央にしておきます。
- 左右の音のレベルを変えたいとき、このつまみで調節します。

テレビ番組の録画 (つづき)

裏番組を録画するには

同じ時間に見たい番組が2つ重なったとき、1方の番組を見ながら他方の番組を録画できます。



- 1** 最初に前ページの準備と1~3の操作をする。
これで裏番組の録画が始まります。
- 2** **VTR/TV** を押して「TV」にする。
テレビの画面から映像は消えますが録画はそのまま続いています。
- 3** テレビを見たいチャンネルに合わせる。
- 4** 録画をやめるときは **STOP** を押す。

ビデオ/テレビ(VTR/TV)切換ボタンの使いかた

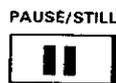
テレビに送る電波を切替えるボタンです。



- ビデオで選んだ番組を見るとき「VTR」にします。またこのときVTRランプがつかきます。
(ビデオの電源を入れたとき、および再生状態になると、自動的に「VTR」に切り替わります。)
- テレビをふつうに使うとき「テレビ」にします。
VTRランプは消えます。
(ビデオの電源を切ると、自動的に「TV」に切り替わります。)

一時停止ボタン(PAUSE/STILL)ボタンの使いかた

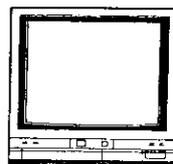
テープ走行を一時停めるボタンです。



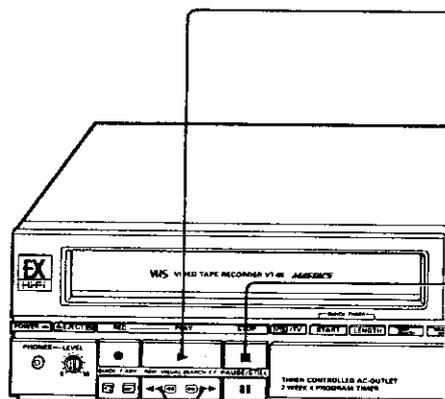
- 録画中に不要な場面をとばして録画したいとき、このボタンを押します。再び録画を続けるときはもう一度押します。
- 録画中にチャンネルを変更するとき、録画一時停止状態にしたあと、チャンネルを変更してください。

録画したテープを見る(再生)

準備



- ビデオの電源を入れ、ビデオカセットを入れます。
- テレビの電源を入れ、ビデオ用のチャンネル(「1」または「2」)にします。
- 音声出力切換スイッチを「自動」にします。



- 1** **PLAY** を押す。
再生が始まります。チャンネル表示は消えます。
- 2** 再生をやめるときは **STOP** を押す。
テープが最後までくると自動的に巻戻され、停止します。

早送りや巻戻しをするときは **STOP** を押し
たあと **F.F** または **REW** を押す。

トラッキング調節つまみの使いかた

再生画面の映りが悪いときやHi-Fi音声にノイズが入るときに使います。

トラッキング



- 通常は手ごたえのある中央に合わせておきます。
- 画面の一部に常時のノイズが出たり、画面がモヤモヤするとき、またはHi-Fi音声に「ブチブチ」というノイズが入るとき、つまみをゆっくり回し最良になるよう調節してください。再生が終わったら再びF.F中心に戻しておきます。

音声出力切換スイッチの使いかた

再生時音声を切替えるスイッチです。

音声出力切換

ノーマル

自動



●「ノーマル」:

テープの記録内容に関係なく、常にノーマル音声を再生します。

●「自動」:

ふつうはこの位置にしておきます。Hi-Fiとノーマル音声の両方が記録されているときHi-Fi音声を、ノーマル音声しか記録されていないときは自動的にノーマル音声を再生します。

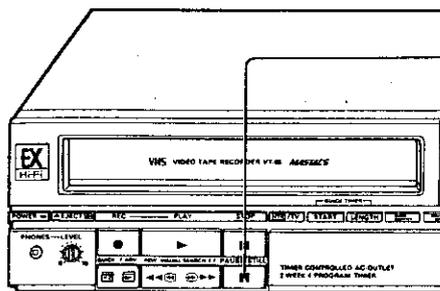
ご注意: ノーマル音声しか記録されていないテープを「自動」で再生すると、妨害電波の影響でHi-Fiトラックに切り替わり、再生が中断することがあります。

録画したテープを見る(再生) いろいろな再生 クイックタイマー録画

いろいろな再生

この場合、いずれも音声は出ません。また、「標準」で録画したテープは、ノイズの幅や位置により色が消えることがあります。

静止画再生

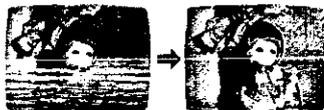


1 再生中に **PAUSE/STILL** を押す。
静止画再生になります。

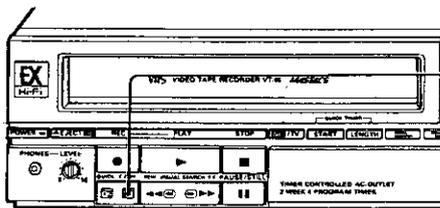
2 もう一度押すと再生に戻ります。
● **STOP** を押せば停止します。

静止画再生は

- 約5分たつとテープおよびビデオヘッド保護のため自動的に停止します。
- 「EP/3倍」で録画したテープはブレのない静止画＝「ファインスチル」再生になります。
- 「SP/標準」で録画したテープは写真のようにノイズが出ますが、その場合コマ送り(F.ADV) ボタンを押してノイズを画面から送り出してください。



コマ送りと簡易スロー再生



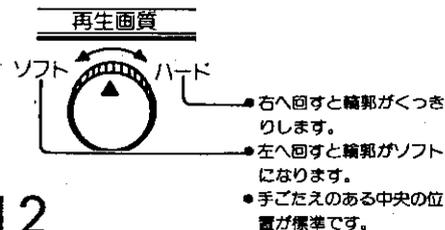
1 静止画再生中に **F.ADV** を押す。
● 1回ずつ押すと1コマずつ、押し続けると連続的にコマ送り(簡易スロー)再生されます。

簡易スロー再生は

- 「EP/3倍」で録画したテープは、幅の狭いノイズが出ます。
- 「SP/標準」で録画したテープは、幅の広いノイズが出ます。

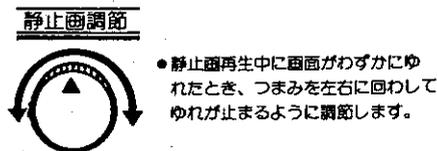
再生画質調節つまみの使いかた

再生画面の輪郭を調節するつまみです。

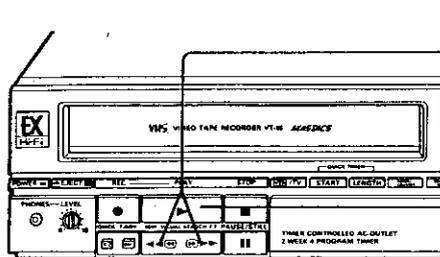


静止画調節つまみの使いかた

静止画再生のときに使います。



ビジュアルサーチ (早送り、巻戻し再生)



1 再生中に **F.F.** を押すと早送り再生ができます。 **REW** を押すと巻戻し再生ができます。

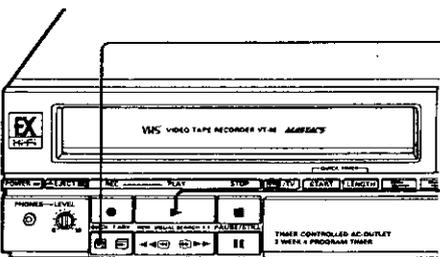
2 見たい画面が現れたら **PLAY** を押すと再生に戻ります。
● **STOP** を押せば停止します。

ビジュアルサーチは

- 写真のようにノイズが出ます。
- 「EP/3倍」で録画したテープは約10倍、「SP/標準」で録画したテープは約3倍の速さでサーチできます。



クイック再生



1 再生中に **QUICK X2** を押す。
通常の2倍の速さで再生します。

2 **PLAY** を押すと再生に戻ります。

クイック再生は

- 約5分たつとテープおよびビデオヘッド保護のため自動的に再生に戻ります。
- 画面にノイズが出たときは、トラッキング調節つまみを回して、ノイズを画面から送り出してください。

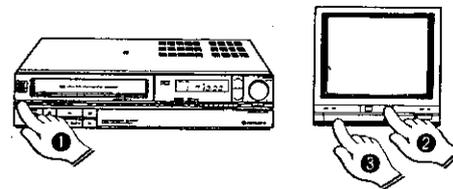
オートリwind機能

テープが終わると自動的に巻戻す便利な機能です。



- 録画、再生、早送り中テープが最後までくると自動的に最初まで巻戻されます。
- タイマー録画およびクイックタイマー録画中は、この機能は働きません。

テレビをふつうに使うには



- 1 ビデオの電源を切ります。
- 2 テレビの電源を入れます。
- 3 テレビを見たいチャンネルに合わせます。

クイックタイマー録画

録画が終わると自動的に電源が切れる
手軽で便利な機能です。

今すぐ、または今から一定時間後に録画を始めることができます。

今すぐ録画を始めたいとき

たとえば、つぎのようなとき使うと便利です。



準備

- ビデオの電源を入れ、ビデオカセットを入れます。
- 入力切換スイッチを「チューナー」にします。
- 録音レベルが合っていることを確認します。

1 録画したいチャンネルを選ぶ。

2 LENGTH を押して録画時間を合わせる。

押す回数	表示	録画時間
1	0:00	録画準備
2	0:30	30分録画
3	1:00	1時間録画
4	1:30	1時間30分録画
5	2:00	2時間録画
6	3:00	3時間録画
7	4:00	4時間録画

●8回押すと表示は 0:00 に戻ります。

●「0:30」が表示されると録画が始まります。

●録画が終わると自動的に電源が切れます。

クイックタイマーを使うとき

- 「午前 9:00」が点滅しているとき、電源が入っていないときおよび再生中はクイックタイマー録画できません。
- 途中でやめるときは LENGTH を押して表示を「0:00」に合わせてください。録画が終わって電源が切れます。また途中でテープが終わったときも自動的に電源が切れます。
- クイックタイマー録画中に LENGTH を押すと、新たに表示された時間の録画ができます。

今から一定時間後(24時間以内)に録画を始めたいとき

たとえばつぎのようなとき使うと便利です。

ふつうのタイマー録画操作をするかわりに使うとき

深夜番組を録画するとき

午前0:00から2時録画

1 前ページの準備と1の操作をする。

2 START を押して開始時刻を合わせる。

- 1回押すたびに30分ずつ変わります。

現在時刻

午前 9:13

↓ 1回押す

午前 9:30

↓ 2回押す

午前 10:00

↓ 3回押す

午前 10:30

24時間以内の開始時刻を30分単位で選ぶことができます。

3 LENGTH を押して録画時間を合わせる。

- 前ページ2と同じ操作をします。

4 電源スイッチを切る。

タイマー録画ランプがつきます。これで準備完了。開始時刻になると自動的に録画が始まります。

ご注意：ビデオカセットが入っていないかたり、「つめ」の折れているカセットが入っているとタイマー録画ランプが点滅してお知らせします。

- 開始時刻、録画時間を確認するには電源スイッチを「切」にして、START または LENGTH を押します。電源スイッチが「入」のときは予約の確認はできません。
- 開始時刻、録画時間を変更するときは電源を入れたあと、LENGTH を押すと録画時間を変更できます。開始時刻は LENGTH をくり返し押して表示を「0:00」に合わせると約10秒後に予約が取消されますので、その後 START を押して合わせ直します。また開始時刻を合わせ直したときは必ず録画時間も合わせ直してください。
- クイックタイマー録画とふつうのタイマー録画の開始時刻が同じ場合、クイックタイマー録画が優先します。またふつうのタイマー録画が始まっているときでもクイックタイマー録画の開始時刻になったときはクイックタイマー録画に切替わります。

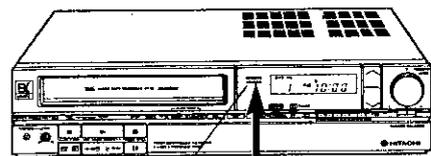
リモコンの使いかた

ビデオの操作の他に当社の下記テレビの操作もできます。

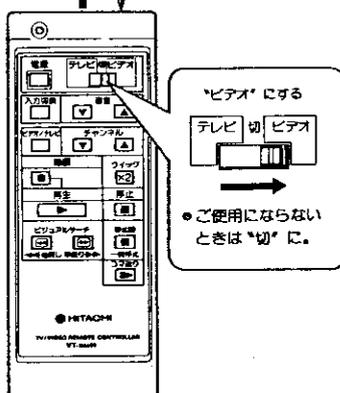
タイマー録画

リモコンの使いかた / タイマー録画

■ビデオの操作をするとき



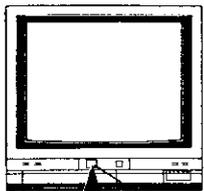
赤外線受光部 (リモコン受信窓) 約5~7m



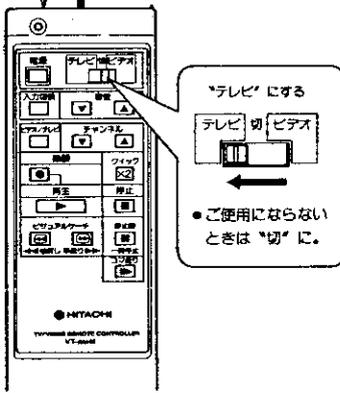
「ビデオ」にする
テレビ 切 ビデオ
●ご使用にならないときは「切」に。

■テレビの操作をするとき

当社のテレビC14-B20VA、C15-B01、C15-B30、C18-D20、C19-D30、C19-D40、C19-D74、C19-273、C21-E40、C21-E74、C21-833、C21-873、C21-E30の操作がリモコンでできます。



赤外線受光部 (リモコン受信窓) 約5~7m

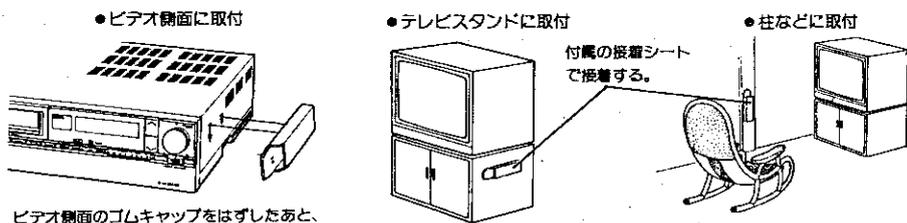


「テレビ」にする
テレビ 切 ビデオ
●ご使用にならないときは「切」に。

リモコンを使うとき

- ビデオまたはテレビの操作する側の赤外線受光部にまっすぐ向けて操作します。
- 赤外線受光部に強い光が当たっていたり、リモコンと受光部の間に障害物があるとリモコンが動作しにくくなります。
- ビデオの音量を変えたいときは、テレビの赤外線受光部に向けて操作します。

■リモコンの収納 (付属のリモコンケースを窓のように取付けておくとリモコンの収納に便利です)

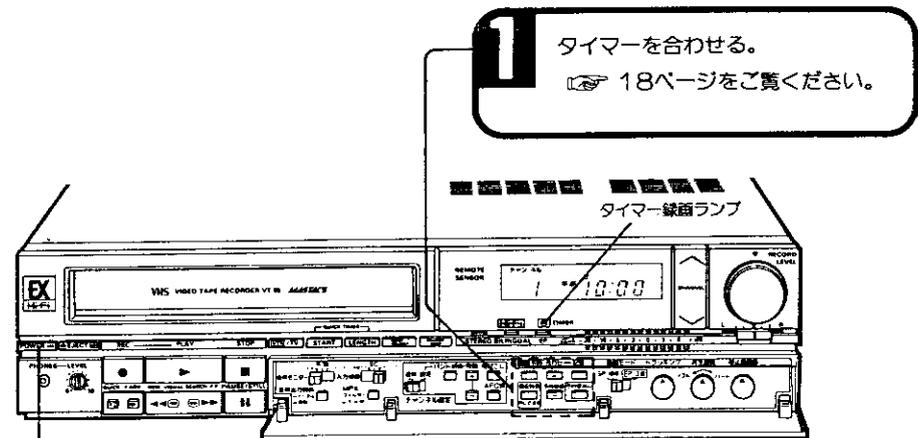


ビデオ側面のゴムキャップをはずしたあと、リモコンケースの「つめ」の部分に穴に入れ、下に押す。(左側にも取付けできます)

●注意: リモコンケースは一度接着した後、はがしたりするとキャビネットの塗料がはがれたりすることがありますのでご注意ください。

準備

- 現在時刻が合っているか確認します。(P.29ページ)
- 録画モード切換えスイッチを「SP/標準」または「EP/3倍」にします。
- ビデオの電源を入れて、ビデオカセットを入れます。
- 入力切換えスイッチを「チューナー」にします。
- 録音レベル (RECORD LEVEL) 調節つまみの目盛り「5」を中央の▼印に合わせます。



1 タイマーを合わせる。
P.18ページをご覧ください。

2 電源スイッチを切る。
タイマー録画ランプがつかます。これで準備完了。開始時刻になると自動的に録画が始まります。

●注意: ビデオカセットが入っていないか、折れているカセットが入っているとタイマー録画ランプが点滅してお知らせします。

タイマー録画ランプが点灯しているとき

- 再生、早送りなどビデオの各操作はできません。電源スイッチを入れるとタイマー録画ランプが消え、ふつうに使えます。

タイマー録画中は

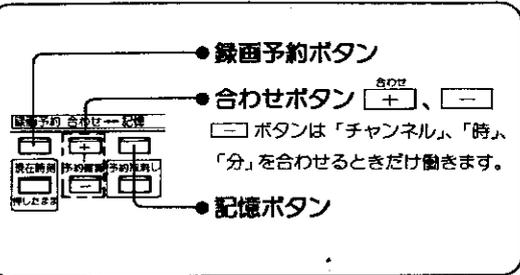
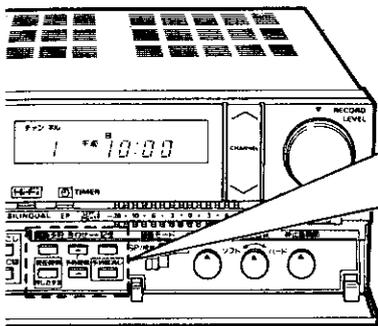
- 予約内容 (チャンネル、曜日など) の変更はできません。
- 途中でテープが終わると電源が切れ、予約内容も消えます。但し毎日や毎週同じくり返し番組の予約内容は消えません。
- 途中で録画をやめたいときは、合わせボタン(+)を押したあと、予約取消ボタンを押してください。録画が止まります。またこのとき録画中の番組が毎日、毎週などのくり返し番組の場合、次回以降の予約も消えます。

停電があった場合

- 約30分程度のときは停電補償回路が働き、予約内容はそのまま記憶しております。停電がそれ以上のときは、表示部に「P:0:00」が点滅し予約内容も消えてしまいますので再び予約しなおしてください。

タイマーの合わせかた (全部で4つの番組予約ができます。1つは毎週同一番組の予約。残りの3つは2週間以内の1回かぎりの番組または毎日同一番組の予約ができます。)

合わせボタンで希望の「曜日」、「時刻」を選び記憶ボタンでそれを記憶する操作をくり返します。表示部に「曜日」や「時刻」が順番に点滅しますのでその順序で合わせてください。



例：予約番号2に4チャンネルを明日(木曜日)の午後9時から午後10時50分まで予約するとき。

- ### 1 予約開始

録画予約 $\left[\begin{matrix} \square \\ \square \end{matrix} \right]$ を押す。

 - すでに予約済みの予約番号は点滅しないで点灯します。
- ### 2 予約番号の合わせ

合わせ $\left[\begin{matrix} + \\ - \end{matrix} \right]$ を1回ずつ押して予約番号「2」に合わせたあと $\left[\begin{matrix} \square \\ \square \end{matrix} \right]$ を押す。
- ### 3 チャンネルの合わせ

合わせ $\left[\begin{matrix} + \\ - \end{matrix} \right]$ または $\left[\begin{matrix} \square \\ \square \end{matrix} \right]$ を押しチャンネルを「4」に合わせたあと $\left[\begin{matrix} \square \\ \square \end{matrix} \right]$ を押す。

 - 合わせボタンの代わりにチャンネル選局ボタンを押してもチャンネルを変えることができます。
- ### 4 曜日の合わせ

合わせ $\left[\begin{matrix} + \\ - \end{matrix} \right]$ を押して「木」曜日に合わせたあと、 $\left[\begin{matrix} \square \\ \square \end{matrix} \right]$ を押す。

 - 録画する日が本日より1週間以上先のときは、何週表示ランプが「2週」になるまで合わせボタンを押す。

- ### 5 開始時刻「時」の合わせ

合わせ $\left[\begin{matrix} + \\ - \end{matrix} \right]$ または $\left[\begin{matrix} \square \\ \square \end{matrix} \right]$ を押して「午後9」に合わせたあと $\left[\begin{matrix} \square \\ \square \end{matrix} \right]$ を押す。

 - 「午前」、「午後」をまちがえないでください。
 - 昼の12時は「午後0:00」、夜の12時は「午前0:00」です。
- ### 6 開始時刻「分」の合わせ

記憶 $\left[\begin{matrix} \square \\ \square \end{matrix} \right]$ を押す。

 - この例のように点滅している数字や文字をそのまま記憶するときは合わせボタンを押さずに、直接記憶ボタンを押す。
- ### 7 終了時刻「時」の合わせ

合わせ $\left[\begin{matrix} + \\ - \end{matrix} \right]$ または $\left[\begin{matrix} \square \\ \square \end{matrix} \right]$ を押して「午後10」に合わせたあと $\left[\begin{matrix} \square \\ \square \end{matrix} \right]$ を押す。
- ### 8 終了時刻「分」の合わせ

合わせ $\left[\begin{matrix} + \\ - \end{matrix} \right]$ または $\left[\begin{matrix} \square \\ \square \end{matrix} \right]$ を押して「50分」に合わせたあと $\left[\begin{matrix} \square \\ \square \end{matrix} \right]$ を押す。これで予約が終わりました。

 - 予約が終わったら電源スイッチを忘れずに切ってください。

■毎週同じ番組をくり返し録画するには **2** 予約番号の合わせ のとき、予約番号を「毎週」に合わせます。

■毎日同じ番組をくり返し録画するには **4** 曜日の合わせ のとき「日月火水木金土」の全部の曜日が現れるように合わせます。

→ 同梱の「タイマー録画操作早見表」に他の例も記載しておりますので本紙と併せてご使用になると便利です。

タイマーを合わせるとき

- 途中でまちがえたら、予約取消しまたは現在時刻ボタンを押し、最初から合わせなおしてください。また途中で操作が約1分間以上中断すると現在時刻表示に戻ります。この場合も最初から合わせなおしてください。
- 予約ずみの予約番号に新しく予約すると、前の予約は取消されます。
- 毎日や毎週同じく繰り返し番組の予約は停電があったり、予約を取消さない限りそのまま予約され続けます。
- 開始時刻が現在時刻よりも前の時刻のときは予約されません。

予約内容を確認するには

1 を押して確認したい予約番号に合わせる。

予約された内容が順番に表示されます。

予約の取消しをするには

1 を押して取消したい予約番号に合わせる。

開始時刻、**終了時刻** が順番に表示されます。

2 表示が現在時刻に戻る前に を押す。

これで予約が取消されます。

■開始時刻が同じだったり予約時間が重なったときは……

	午後7時	午後8時	午後9時	午後10時
予約番号1	ドキュメント			
予約番号2	プロ野球			
予約番号3			音楽	
録画されるのは……	ドキュメント	プロ野球	音楽	

- 開始時刻が同じ場合 (予約番号1と2の場合)
→ 予約番号の小さい方が優先されます。
(毎週の予約は一番あとになります)
- 予約時間が重なった場合 (予約番号2と3の場合)
→ 開始時刻の早い方が優先されます。
但し、録画する日が異なる場合は問題ありません。

サイマル録音するには

サイマル録音とはテレビ番組の録画とFMチューナーなどの外部機器からの音を同時に録画・録音することです。テレビ番組の音はノーマルトラックに、外部機器からの音はHI-FIトラックに録音されます。画像もふつうに録画されます。

準備

- FMチューナーなどの外部機器を接続します。(P.28ページ)
- FMチューナーなどの音を出します。
- MPXフィルタースイッチを「入」にします。
- 「テレビ番組の録画」(8.9ページ)の準備と同じ操作をします。

1 入力切換スイッチを「SC」に合わせる。

2 録音レベル(RECORD LEVEL)を調節する。
●P.9ページをご覧ください。

3 9ページ「テレビ番組の録画」**1**～**4**の操作をする。
これでサイマル録音できます。

●再生するときは音声モニター切換スイッチを切換えてテレビ番組の音と外部機器からの音を選ぶことができます。

FMチューナーから録音するには

上記の操作のとき入力切換スイッチを「外部入力」にして録音をします。T-160テープを使えば最長8時間録音できます。また本機のタイマー機能を使えばFMエアチェックの留守録もできます。タイマーの合わせかたは「タイマー録画」(17～20ページ)と同じです。

MPXフィルタースイッチの使いかた

FM放送を録音するときに使うスイッチです。

MPX
フィルター
入 切

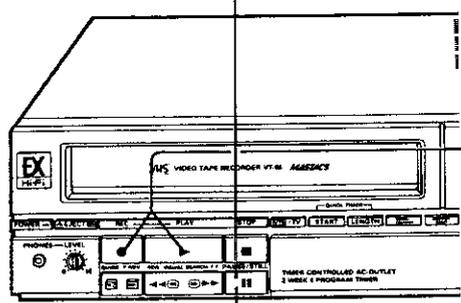


- 録音するときのスイッチを「入」にすると、FMチューナーから出ているわずかな雑音を低減して録音できます。
- FM放送の録音時以外はこのスイッチを「切」にしてください。

上手なつなぎ録画のしかた

前の画像に続いて新しい画像を録画するとき、つなぎ部分の乱れを少なくできます。

途中まで録画してあるテープにつづけて別の録画をするときや、録画中に不要な場面をとばして録画するときには下記の操作をします。

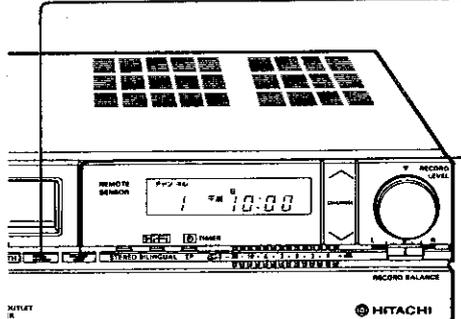


- 1** テープを再生し録画の最終部分で PAUSE/STILL  を押す。
- 2** REC  と PLAY  を同時に押す。
- 3** PAUSE/STILL  をもう一度押す。これで正しいつなぎ録画ができます。

●本機では一時停止ボタン (PAUSE/STILL) を押すとテープをわずかに巻戻すことによりつなぎ部分の乱れが少なくなります。

テープカウンターの使いかた

(テープの巻出しが簡単にできます。)

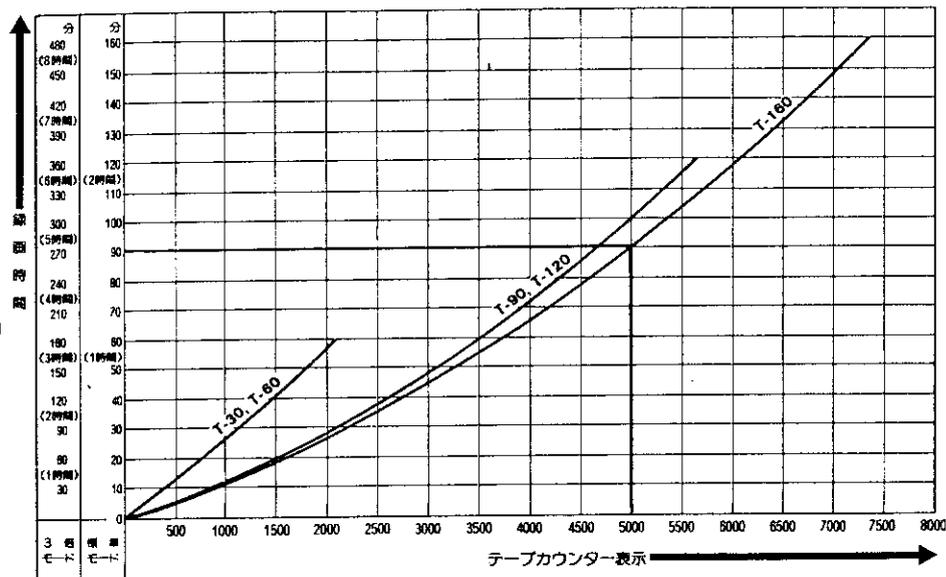


- 1** CLOCK/COUNTER  を押してカウンター表示にする。
●ビデオの電源が切りのときはカウンター表示できません。
- 2** 録画または再生を始める前に COUNTER RESET  を押して表示を「0000」にする。
- 3** 録画または再生が終わって巻戻すと、自動的に「0000」付近で止まります。

●カウンター表示のときオートリwind機能が働くとやはり「0000」付近で止まります。

■テープカウンターとビデオテープ残量について

途中まで録画したテープの残りの部分に新しく録画するとき、あと何分録画できるかを調べるとき次の表をおよその目安として使うと便利です。



●表の使いかた (T-160を使った場合)

- ①途中まで録画してあるテープを最初まで巻戻しカウンターを「0000」にします。
- ②新しく録画を始めたい位置まで早送りし、そのときのカウンターを読みます。(例えば「5000」とします。)
従ってこれを「3倍」で録画すると480分-270分=210分 (3時間30分) 録画できます。
「標準」で録画すると160分-90分=70分 (1時間10分) 録画できます。

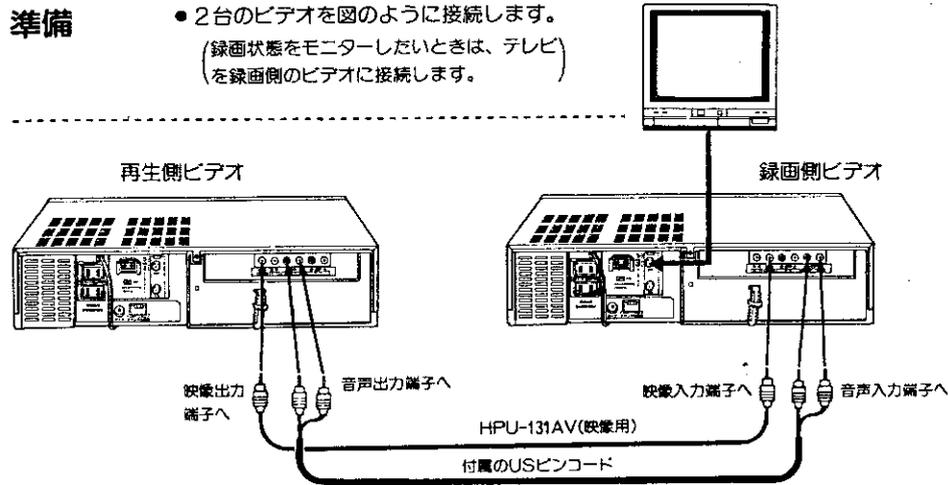
■ビデオカセットテープの種類と最大録画時間

ビデオカセットテープ			最大録画時間	
Hi-Fi	ハイグレード	ノーマル	標準モード	3倍モード
	T-160HGS	T-160S	2時間40分	8時間
T-120 Hi-Fi	T-120HGS	T-120S	2時間	6時間
		T-90S	1時間30分	4時間30分
	T-80HGS		1時間20分	4時間
T-60 Hi-Fi	T-60HGS	T-60S	1時間	3時間
	T-40HGS		40分	2時間
	T-30HGS	T-30S	30分	1時間30分
	T-20HGS		20分	1時間

テープの編集 本機ともう1台のビデオを組み合わせるとテープの編集ができます。

準備

- 2台のビデオを図のように接続します。
(録画状態をモニターしたいときは、テレビを録画側のビデオに接続します。)



1 再生側ビデオにビデオカセットを入れて再生します。

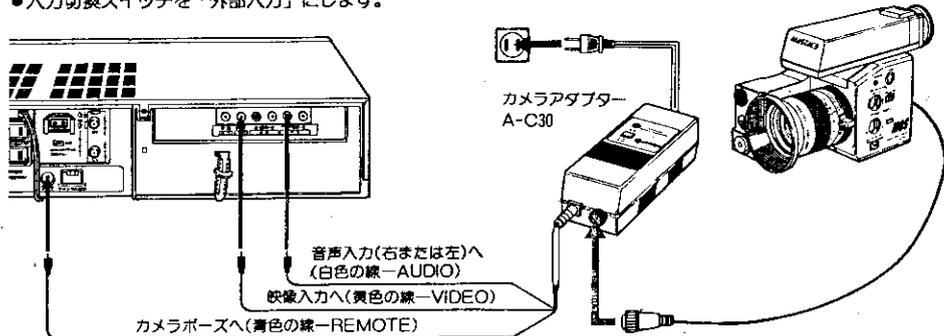
2 録画側ビデオにビデオカセットを入れて録画します。

テープの編集をする時

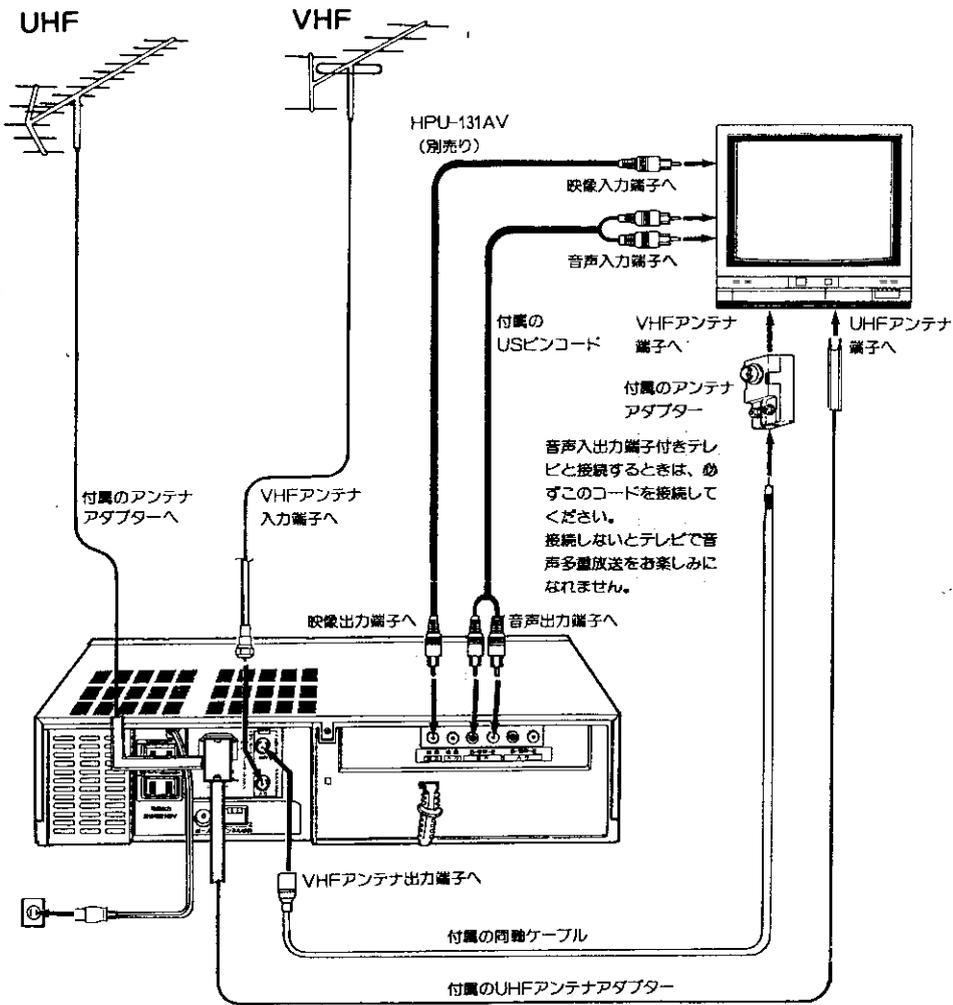
- 画質は多少おちますので、録画側ビデオの録画モード切換スイッチを「SP/標準」にすることをおすすめします。
- 本機を録画側に使用するときには入力切換スイッチを「外部入力」にします。

カメラ録画 ビデオカメラ (別売り) を接続すれば、素直な思い出を録画することができます。

- カメラの他に別売りのカメラアダプターA-C30が必要です。
- くわしくはご使用になるカメラの取扱説明書をご覧ください。
- 入力切換スイッチを「外部入力」にします。



当社「オンライン」テレビ (映像、音声入力端子付き) などと接続するときは、下記の接続をすれば、より質の高い画質で録画・再生をお楽しみいただけるとともにテレビでも音声多重放送をお楽しみいただけます。



- 本機の特長である、Hi-Fi VHSの機能を十分に発揮させるため、電波の弱い地域では別売りブースター (VB-V60かVB-U60) をご使用になることをおすすめします。
- テレビの取扱説明書もよくご覧ください。
- アンテナアダプターの使いかたは次ページをご覧ください。

アンテナを接続するには

(一部のテレビ(映像、音声入出力端子のない)と接続するには)

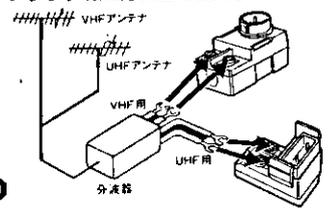


アンテナを接続するには

- 1 アンテナ線をテレビから取りはずします。
- 2 アンテナをビデオに接続します。
- 3 ビデオとテレビを付属の同軸ケーブル、またはUHFアンテナアダプターで接続します。

取りはずしたアンテナのタイプ	アンテナアダプターが必要な場合	ビデオの入出力端子に接続	アンテナアダプターが必要な場合	テレビの入力端子に接続
UHF VHF VHFのアンテナは3タイプあります ●タイプ1 同軸ケーブル (F型コネクター付きのとき)		ビデオ後面 UHF 入力 VHF アンテナ 入力端子 VHF アンテナ 出力端子へ	付属のアンテナアダプター	テレビ後面 VHF
●タイプ2 同軸ケーブル (F型コネクター無しの場合)	付属のアンテナアダプター	ビデオ後面 UHF 入力 VHF アンテナ 入力端子へ VHF アンテナ 出力端子へ	付属の同軸ケーブル	テレビ後面 VHF
●タイプ3 平行フィーダー線	付属のアンテナアダプター	ビデオ後面 UHF 入力 VHF アンテナ 入力端子へ VHF アンテナ 出力端子へ	付属の同軸ケーブル	テレビ後面 VHF
●通常UHFのアンテナは平行フィーダー線の1種類だけです。 ●電波の弱い地域では別売のブースター (VB-V60 かVB-U80) をご使用ください。	付属のUHFアンテナアダプター (フィーダー線付)	ビデオ後面 UHF アンテナ 入力端子へ VHF アンテナ 出力端子へ	UHF受信地域はUHFアンテナアダプターの他に同軸ケーブルも接続します。 付属の同軸ケーブル	テレビ後面 VHF UHF

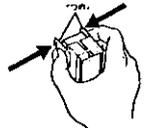
●アンテナ線に分岐器を使用している場合は



●VHF用、UHF用ケーブルをそれぞれ本機に付属のアンテナアダプターに取付けます。

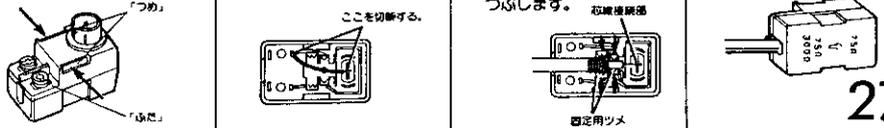
●UHFアンテナアダプターについて

- ビデオに接続するときはワンタッチで接続できます。
- はずすときは「つめ」を矢印方向に押しながらはずします。



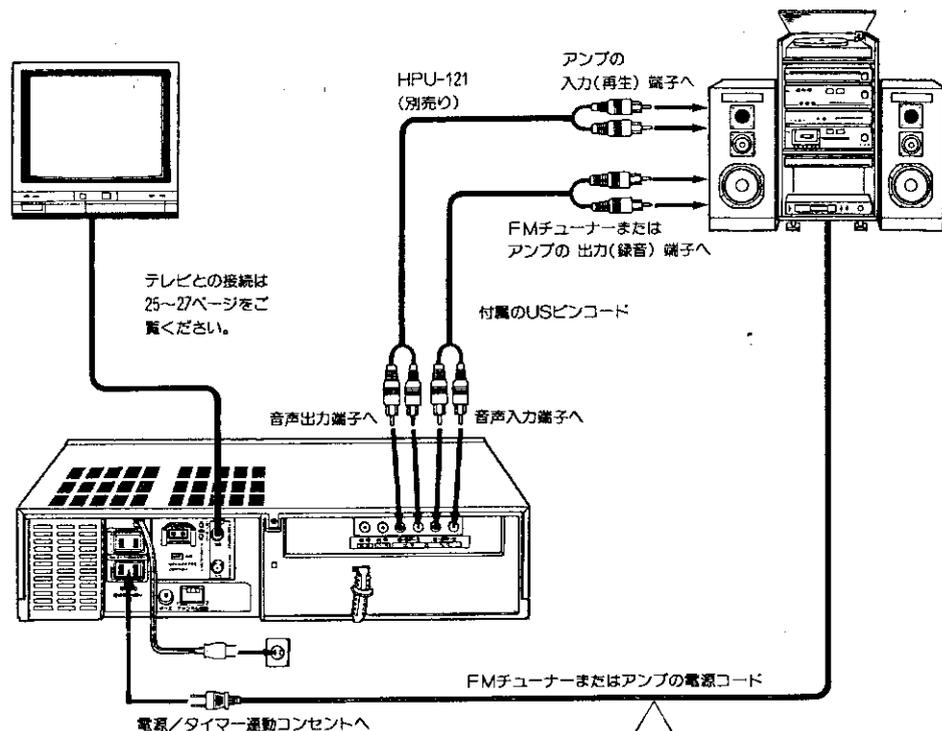
同軸ケーブルとアンテナアダプターの取り付け方

- 1 指で「つめ」を押しながら「ふた」をはずします。
- 2 線材を切断し、取りはずします。
- 3 同軸ケーブルを差し込み「固定用ツメ」をペンチでつぶします。
- 4 「ふた」をします。

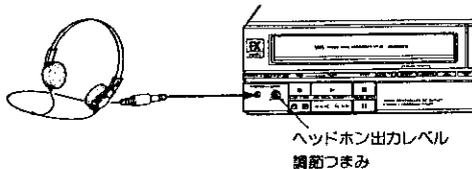


オーディオ機器との接続

このビデオの機能を十分にお楽しみになるには、テレビと接続するだけでなくオーディオ機器と接続することをおすすめします。この場合テレビに音声入力端子がなかったり、音声多重対応テレビでなくても下記の方法で音声多重放送をお楽しみいただけます。



ステレオヘッドホンでも音声多重放送をお楽しみいただけます。



●音量はヘッドホン出力レベル調節つまみで調節します。

オーディオ機器と接続して再生するには

本機のヘッドホン端子や音声出力端子からの音は、音声モニター切換スイッチ、音声出力切換スイッチで選べます。スイッチの使い方は9ページと11ページをご覧ください。

本機の電源/タイマー運動コンセントにFMチューナーを接続すれば、タイマー録音機能を使用してFMエアチェックの留守録ができます。

●アンプとFMチューナーが運動しているときは、アンプを接続します。但しその場合、アンプやチューナーなど接続する機器合計の定格消費電力は200W以下です。それ以上の機器は絶対に接続しないでください。

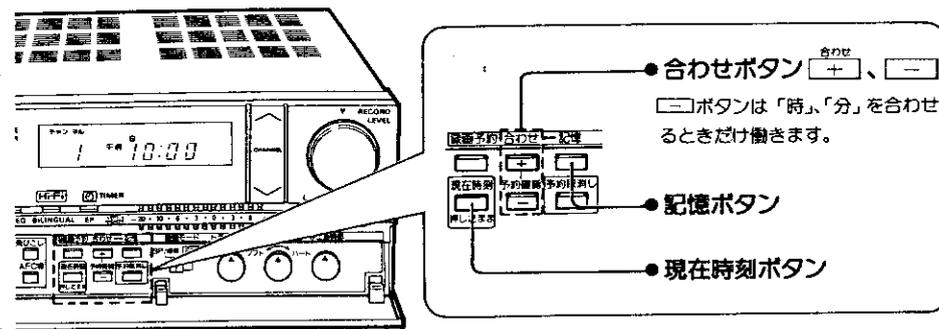
オーディオ機器から録音するには

オーディオ機器から録音するときは、入力切換スイッチを「外部入力」または「SC」にして録音レベル調節つまみで録音レベルを調節します。

現在時刻の合わせかた

時計表示は、電源スイッチの入、切に関係なく、電源コードがコンセントに接続されている限り時計動作を行ないます。

時刻を合わせるときは合わせボタンで希望の「曜日」、「時刻」を選び記憶ボタンでそれを記憶する操作をくり返します。表示部には合わせようとする「曜日」や「時刻」が順番に点滅しますので、その順序に従って合わせてください。



例：本日（水曜日）の午前10時05分に合わせるとき

- 1 現在時刻 \square を押したまま 2～4 の操作をします。
- 2 \oplus を押して「水」曜日を合わせたあと \square を押す。
- 3 \oplus または \ominus を押して「午前10時」を合わせたあと \square を押す。
●「午前」「午後」をまちがえないでください。
- 4 \oplus または \ominus を押して「05分」に合わせたあと \square を押す。
- 5 現在時刻 \square から指を離す。
このときから時計は動作を始めます。

時刻を合わせる

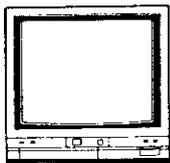
- 合わせボタンは1回ずつ押すと1つずつ変わり、押し続けると連続的に変わります。合わせようとする時刻の少し手前まで押し続け、その後1回ずつ押すと時刻合わせが簡単にできます。
- 時計を正確に合わせるには、時刻を合わせたあと、現在時刻ボタンだけを押して、時報に合わせて指を離すと、秒まで正確に合わせることができます。
- 合わせボタンを押さずに、記憶ボタンを直接押すと、点滅している文字(数字)が記憶されたあとに次に必要な入力部の表示が点滅を始めます。

オーディオ機器との接続/現在時刻の合わせかた

受信チャンネルの合わせかた

このビデオは工場出荷時あらかじめVHF 1~12チャンネルが映るように調整してあります。UHFチャンネルを受信したり、VHFチャンネルを並べかえたりするときには下記の方法で合わせなおしてください。

準備



- ビデオの電源を入れます。
- 入力切換ボタンを「チューナー」にします。
- ビデオ/テレビ切換ボタンを「ビデオ」にします。
- テレビの電源を入れ、ビデオ用のチャンネル（「1」または「2」）にします。

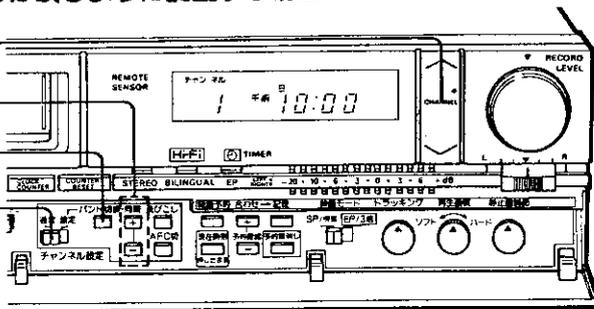
例：UHF 48チャンネルが映るように調整する場合

チャンネル選局ボタン

同調ボタン

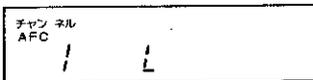
バンド切換ボタン

チャンネル設定スイッチ



1

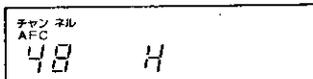
設定ボタンを「設定」にする。
時計表示はバンド表示に変わり、「AFC」の文字が現れます。



2

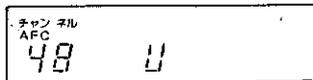
チャンネル設定ボタンまたはチャンネルボタンを押してチャンネル「48」に合わせる。

- チャンネル設定ボタンを押すと1、2、3……79、80と変わります。
- チャンネルボタンを押すと80、79……2、1と変わります。



3

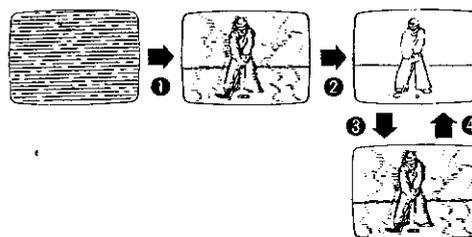
バンド切換ボタンを押して「U」に合わせる。
●ボタンを1回押すたびにL→H→U→Lと変わります。



合わせたいチャンネル	バンド表示
VHF 1~3チャンネル	L
VHF 4~12チャンネル	H
UHF 13~62チャンネル	U

4

テレビにUHF 48チャンネルの画面が映るまで「+」を押し続ける。

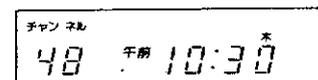


- 一度画面が行きすぎたあと、同調ボタン「-」を軽く「チョン、チョン」と押して合わせると最適に合わせることができます。

※これでチャンネルポジション48にUHF 48チャンネルを合わせることができました。続けて他のチャンネルも合わせるときはこの2~4の操作をします。

5

チャンネルを合わせ終わったら「通常」に戻す。



- 「AFC」の文字は消えます。

※注意：●チャンネルを合わせたとあは必ずこのスイッチを「通常」に戻してください。またチャンネル選局ボタンを押して合わせ直したチャンネルがきれいに映るかどうか確認してください。

受信チャンネルを合わせるコツ

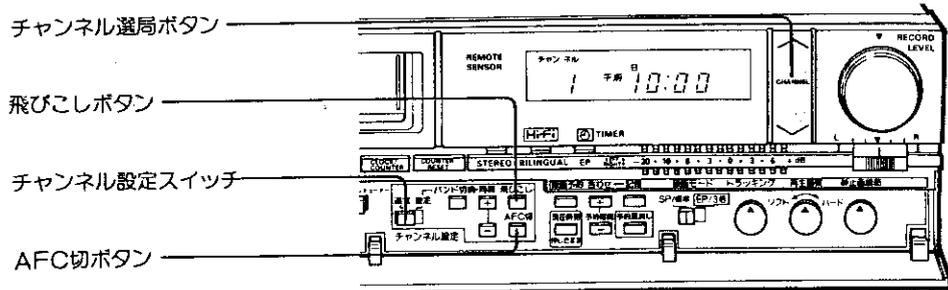
- 同一バンド内で2つ以上のチャンネルを合わせるときは、低い方のチャンネルから順番に（UHF 16 → UHF 18 → UHF 30）のように合わせると早く合わせることができます。
- UHF放送の高い方のチャンネル（例えばUHF 58チャンネル）を合わせるときは、バンドを「L」に合わせたあと同調ボタン「-」を押します。バンドがすぐ「U」に変わり、高い方のチャンネルから順番に放送チャンネルを探していきます。
- 同調ボタンを押し続けると順番に放送チャンネルを探していき、バンドも自動的に次に移ります。同一バンド内で一番低いチャンネルから一番高いチャンネルまで探す時間は表のようになります。

バンド	チャンネルを探すのに要する時間
L	約20秒
H	約40秒
U	約80秒

※チャンネルポジションとは

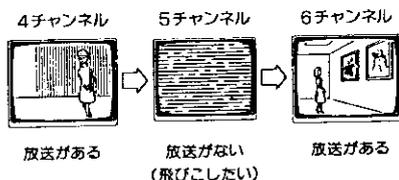
本機に内蔵のチューナーは全部で80のチャンネルを記憶できます。工場出荷時はそのうち1~12番目までにそれぞれVHF 1チャンネル~VHF 12チャンネルを合わせてあります。13番目から80番目までは何も合わせてありません。この何番目のことをチャンネルポジション（例えば5番目はチャンネルポジション5、48番目はチャンネルポジション48）といいます。1~80のチャンネルポジションには任意の放送チャンネルを合わせることができるとして放送チャンネルとチャンネルポジションの数字を合わせておくとう便利です。

飛びこしボタンとAFC切ボタンの使いかた



■飛びこしボタンの使いかた

チャンネル選局ボタンを押すと設定してあるチャンネルが連続して変わりますが、中には放送のないチャンネルもあります。このようなチャンネルを飛ばし、放送のあるチャンネルだけ画面に出したいときこのボタンを使います。



- 1 **設定** を「設定」にする。
- 2 チャンネル選局ボタンを押し、飛びこしたいチャンネルに合わせる。
- 3 **飛びこし** を1回だけ押す。
このときテレビの音は消えます。他のチャンネルも飛びこしたいときはこの②、③の操作をくり返します。
- 4 **通常** を「通常」に戻す。
これでチャンネル選局ボタンを押すと、飛びこし設定した以外のチャンネルだけが画面に出ます。
 - 飛びこしボタンは1回押せば飛びこしの設定ができ、もう1度押せばその取消しとなります。
 - 飛びこしをしたチャンネルを再び元に戻すときは①～④と同じ操作をします。

■AFC切ボタンの使いかた

このビデオにはAFC（自動周波数調整）回路がついておりますので、受信したチャンネルを最適なように調整しております。（通常はAFC回路が働いております。）電波が弱かったり、妨害の入るチャンネルではこの回路を働かせない方がテレビの映りがよくなることもあります。

- 1 **通常** を「通常」のまま、チャンネル選局ボタンを押しテレビの映りを確認する。
- 2 AFC切りを働かせたいチャンネルを選ぶ。
- 3 **設定** を「設定」にしたあと、**AFC切** を1回だけ押す。
「AFC」の文字が表示部から消えます。
- 4 **通常** を「通常」に戻す。
他のチャンネルもAFC切りを働かせたいときはこの①～④の操作をします。
 - AFC切ボタンは1回押せば「AFC切」もう1度押せばその取消し「AFC入」となります。

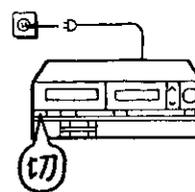
結露にご注意ください。結露したまま使用するとテープやビデオヘッドを傷めます。

●よく冷えた水をコップに注ぐと、コップの表面に水滴がでますが、この現象を結露といいます。



- 寒い場所から急に暖かい場所に移さないでください。
- 暖房をはじめたばかりの部屋は結露がおりやすいのでご注意ください。
- 夏季に冷房のきいた部屋から急に湿度、温度の高い部屋に移すと結露しやすいのでご注意ください。
〔ビデオヘッドに結露すると、テープが粘りつき、テープを傷つけますのでご使用にならないでください。〕

結露がおりそうときは



- 電源コードをコンセントに差し込み、電源スイッチを「切」しておきます。内蔵の結露防止回路がはたらいて、結露を生じにくくします。
結露が生じてから電源コードを差し込んでも、水滴を急に蒸発させることはできません。約2時間お待ちください。
〔別売りのドライファンVD-F30をご使用になると15分ほどで乾燥させることができます。またこのときは必ずビデオの電源を切ったままでドライファンをご使用ください。〕

ビデオの上に直接テレビを載せるときは



ビデオスパーサ VR-VS17 (別売り)

- 直接テレビをのせると、画面が乱れることがあります。テレビをのせる場合には別売りのビデオスパーサVR-VS17を使用されることをおすすめします。またこのとき20kg以上のテレビはのせないでください。
- テレビの上に直接ビデオをのせると画面が乱れることもあります。この場合も、ビデオスパーサVR-VS17を使用されることをおすすめします。

ビデオの置場所 次のような場所に置かないでください。

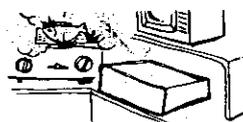
風通しの悪い所 (通風孔をふさいだり、風通しの悪い所)



不安定な所



油煙や湯気が当たる所やホコリの多いところ



磁気を発生する機器の近く (スピーカーの近くなど)



直射日光が当たる所や熱器具の近く



ビデオの近くでラジカセやラジオなどを使用すると、ラジオ放送に「ブー」というノイズ音が出る場合があります。この場合、ラジオやラジカセなどをできるだけビデオより離してご使用ください。

使用上のご注意 (つつき)

安全上お守りいただきたいこと	
電源コードは大切に ●電源コードに傷をつけないようご注意ください。またコードを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。	異物を入れない ●カセット挿入部や通風孔などに金属類や燃えやすいものを差込んだり、落としたりすると感電や火災の原因になります。
中をあけない。 ●電圧の高い部分がありますので危険です。	衝撃を与えないでください。
水は禁物 ●ビデオの上に水の入った容器を置かないでください。万一内部に水や液状のものが入った場合、すぐに電源コードのプラグを抜き、販売店にご連絡ください。	長時間ご使用にならないとき ●安全のために必ず電源コードのプラグを抜いてください。
異常なときは使わない ●煙が出ている、変な音やにおいがあるなど異常なときはすぐに電源コードのプラグを抜き、販売店にご連絡ください。	雷が鳴り出したら ●すぐに電源コードのプラグを抜いてください。またこのとき、アンテナ線には危険ですから絶対に触れないでください。

お取扱上のご注意	
テレビの映りが悪いときは ●ビデオを接続したとき、電波の弱い地域ではテレビの映りが悪くなることがあります。この場合、別売りのブースターVB-V60かVB-L60をご使用ください。	海外では使えません ●このビデオは日本国内用に設計されています。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。 <This video tape recorder set can not be used in foreign country as designed for Japan only.>
キャビネットのお手入れは ●汚れは柔らかい布（ネルなど）で軽くふきます。 ●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に布をひたし、かたく絞ってからふきます。ベンジン、シンナー、化学ぞうきんなど揮発性のあるものは使わないでください。	接続機器について ●ビデオに接続して使用する機器の取扱説明書もよくご覧ください。 ビデオを使わないとき ●ビデオカセットをビデオより取出しておいてください。

アンテナについて

アンテナを立てるとき

●妨害電波の影響を避けるため、交通のひんばんな自動車道や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所にお立てください。
 ●アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。また風でバラバラしないようにしっかりと固定してください。金属の多い場所に配線することも避けてください。
 ●VHFアンテナにはフィーダーのかわりに同軸ケーブルを使用しますと、妨害雑音の少ない良好な画像になります。

アンテナの点検

●アンテナは、定期的に点検、交換をすることが必要です。これがいつまでも美しい画像をご覧になるための秘けつです。特にばい煙の多い地帯や潮風にさらされる地区では寿命が短くなりますから早目に点検してください。

故障かな…と考える前に

○下記のことをお調べのうえ、それでも具合が悪い場合はご自分で修理なさらず、お買い求めの販売店にご相談ください。なお、アフターサービスについては39ページをご覧ください。

症状	原因	処置
電源が入らない	●電源コードがコンセントに接続されていない。	●電源コードの差込みプラグをコンセントに接続してください。
テレビ番組の録画ができない	●アンテナが正しく接続されていない。 ●入力切換スイッチが「外部入力」または「SC」になっている。 ●受信チャンネルの調整がずれている。 ●ビデオカセットの誤消去防止「つめ」が折れている。	●アンテナを正しく接続します。 ●入力切換スイッチを「チューナー」にしてください。 ●受信チャンネルを正しく調整します。 ●「つめ」を確認します。「つめ」が折れていたら穴をセロハンテープでふさいでください。
タイマー録画できない	●タイマーが正しくセットされていない。 ●「つめ」の折れたカセットが入っている。 ●時計が「** : 0:00」で点滅している。	●タイマーを正しくセットしてください。 ●穴をセロハンテープでふさいでください。 ●停電があつたため、予約が消えました。再度、現在時刻を合わせたあとタイマーを合わせてください。
クイックタイマー録画できない	●開始時刻が正しくセットされていない。 ●「つめ」の折れたカセットが入っている。 ●時計が「** : 0:00」で点滅している。	●開始時刻を正しくセットしてください。 ●「穴」をセロハンテープでふさいでください。 ●時計を合わせます。
カメラ録画できない	●入力切換スイッチが「チューナー」または「SC」になっている。	●入力切換スイッチを「外部入力」にします。
選局ができない	●電源が入っていない。 ●チャンネルを飛びこし設定してしましましたか。 ●受信チャンネルの調整がずれている。	●電源を入れます。 ●飛びこし設定を解除します。 ●受信チャンネルを正しく調整します。
再生の画面に帯状のノイズが出たり、画面がモヤモヤする	●古いテープや他のビデオで録画したテープを再生するときにおこることがあります。	●トラッキング調節つまみをゆっくり回して調節してください。再生が終わったら再び中央に戻しておきます。
H-I-FI 音声が出なかったり、途切れたりする	●音声出力切換スイッチが「ノーマル」になっている。 ●トラッキング調節つまみがずれていませんか。 ●回転ヘッド（音声ヘッド）が汚れているとテープを再生してもノーマル音声しか出ないことがあります。 ●テープが古すぎたり、傷がついているテープを再生するときにおこることがあります。	●音声出力切換スイッチを「自動」にします。 ●トラッキング調節つまみをゆっくり回して調節してください。再生が終わったら再び中央に戻しておきます。 ●ヘッドの清掃が必要です。別売りヘッドクリーニングテープT-CL10をご使用になり、ヘッドを清掃してください。 ●テープを交換するしかありません。新しいテープに再度録音しながら再生してください。
時計/カウンター表示部が誤表示したり、操作ボタンを受付けない	●内蔵のマイコンの誤動作のせいです。	●底面の丸穴に虫ピンなどを入れて押してください。表示部がリセットされます。その後セットしなおしてください。 リセット用の穴
電源は入るがビデオの操作ができない。	●各種安全装置がはたらいている。	●電源コードを一度コンセントから抜き、再度コンセントに入れた後、電源を入れてください。

使用上のご注意 ●お取扱上のご注意 ●アンテナについて ●故障かな…と考える前に

症 状	原 因	処 置
再生の画面がきれいにうつらない	<ul style="list-style-type: none"> ●テレビのチューニングが正しくない。 ●ビデオヘッドが汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●テレビのチューニングをしておいてください。 ●ヘッドの清掃が必要です。別売りのヘッドクリーニングテープT-CL10をご使用になりヘッドの清掃をしてください。それでも映りが悪いときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

■ビデオを使っていると……………

- ヘッドの清掃 (テレビ番組はきれいに映るのにビデオで再生するとザラザラした画面になるときは)



ビデオを使っているとこんな症状が出る場合があります。これはビデオヘッドが汚れたためですからビデオヘッドの清掃が必要です。このようなときは別売りヘッドクリーニングテープT-CL10をご使用になりヘッドを清掃してください。それでも映りが悪いときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

- ヘッドの摩耗



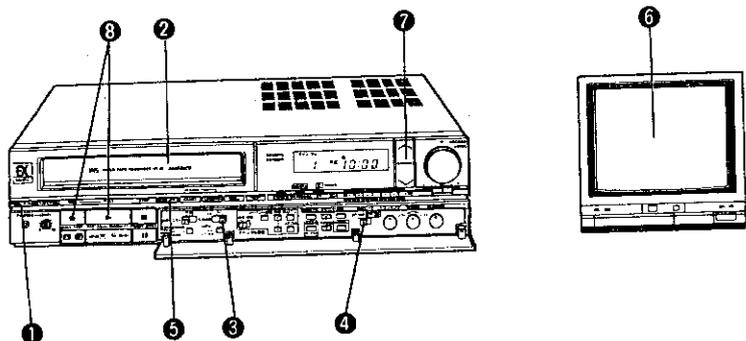
ビデオを長い間使用するとビデオヘッドはレコード針と同様に摩耗し、鮮明な画像が映りません。このような場合ビデオヘッドの交換が必要です。ビデオヘッドの交換はお買い求めの販売店にご相談ください。

別売り品 のご紹介	MOSイメージセンサー 採用、小型、軽量、6倍 ズームカメラ VK-C1500	MOSイメージセンサー採用 カラー電子ビューファインダー付き オートフォーカスカメラ VK-C3400	小型、軽量6倍ズーム カメラ VK-C820
結露除去に最適 ドライファン VD-F30	カメラ用電源アダプター A-C30	ビデオカセット ハイグレードテープ T-20HGS T-60HGS T-30HGS T-80HGS T-40HGS T-120HGS T-160HGS	専用プースター VB-V60 (VHF用) VB-U60 (UHF用)
		ビデオカセット ノーマルテープ T-30S T-90S T-160S T-60S T-120S T-CL10 (ヘッドクリーニングテープ)	ビデオスパーサ VR-VS17
			ビデオカセット Hi-Fiテープ T-120HiFi T-60HiFi

付録 (APPENDIX)

1. RECORDING TV PROGRAMS

VIEWING AND RECORDING THE SAME TELEVISION PROGRAM

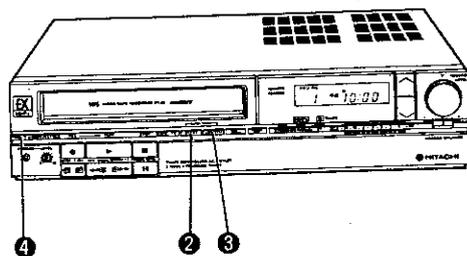


- 1 Turn on VTR Power Switch.
- 2 Insert a cassette.
- 3 Set the Input Selector to "TUNER".
- 4 Set the Tape Speed Selector to "SP" or "EP".
- 5 Set the VTR/TV Selector to turn VTR Light on.
- 6 Turn on TV and select channel 1 or 2, whichever is unused in your area.
- 7 Select the channel to be recorded.
- 8 Press Record and Play button at the same time.

RECORDING ONE PROGRAM WHILE VIEWING ANOTHER

- 1 Follow the same steps as explained in steps 1 through 8 above. Now recording starts.
- 2 Set the VTR/TV Selector to turn VTR Light off.
- 3 Set the TV channel selector on TV to the program you wish to view.

2. QUICK TIMER RECORDING

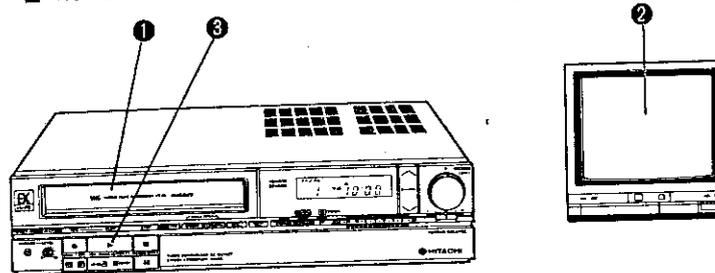


- 1 Follow the same steps as explained under steps 1 through 7 in "VIEWING AND RECORDING THE SAME TELEVISION PROGRAM".
- 2 Press the Start time button to select the start time. If you start recording immediately, it is not necessary to select the start time.
- 3 Press Length button once to set the timer 0:00. Press Length button once again to record for 30 minutes, two times for 60 minutes, three times for 90 minutes, four times for 2 hours, five times for 3 hours, six times for 4 hours.
- 4 Turn off power. Recording will start at the start time.

NOTE: To start recording immediately follow the steps 1 and 3. Recording starts when 0:30 is displayed.

3. PLAYBACK

NORMAL PLAYBACK



- 1 Insert the cassette.
- 2 Turn on TV and select channel 1 or 2.
- 3 Press Play button.

VISUAL SEARCH

- 1 Press either Visual Search button during playback.
- 2 Press Play button to enter the normal playback mode.

FINE STILL

- 1 Press Pause button during playback.
- 2 Press Pause button once again to stop fine still.

4. NORMAL TV VIEWING

- 1 Turn off VTR.
- 2 Turn on TV and select the channel you wish to view.

5. AUDIO MULTIPLEX BROADCAST

RECORDING

Record according to procedures on page 37 "VIEWING AND RECORDING THE SAME TELEVISION PROGRAM". Stereo broadcasts are recorded in stereo and Bilingual broadcasts are recorded in main audio and sub audio on the Hi-Fi audio track.

PLAYBACK

Use the audio monitor switch to select the recorded audio desired.



Broadcast content (Recorded content)	Mode selected	Played back sound
Stereo broadcast	STEREO	STEREO
	STEREO	MAIN + SUB
Bilingual Broadcast	MAIN (L)	MAIN
	SUB (R)	SUB

- When watching a Bilingual broadcast selected by the channel select button on the VTR, set the switch as shown in the table to hear the desired audio.